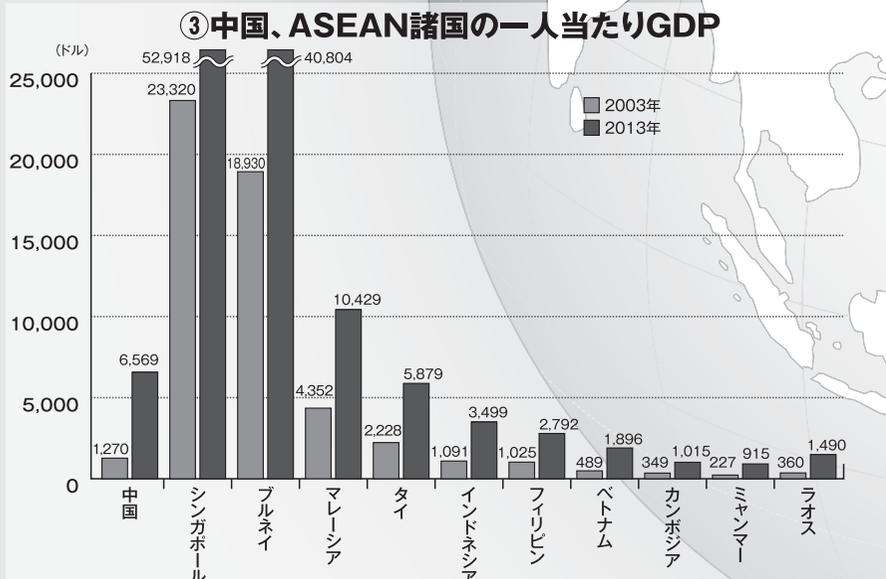


(注)2013年の数値はIMFが公表している見直し  
(資料)IMF「World Economic Outlook」(2013年10月)

#### ▶人口は「潜在的」な消費市場を知るうえで重要である。

中国の人口規模は抜群だが、ASEANもインドネシアで約2.5億人、フィリピンの約1億人と無視できない潜在市場がある。一方で、生産拠点として地位を築いてきたタイやベトナムは人口増加率が低下してきており、少子高齢化という課題が迫る。



(注)2013年の数値はIMFが公表している見直し  
(資料)IMF「World Economic Outlook」(2013年10月)

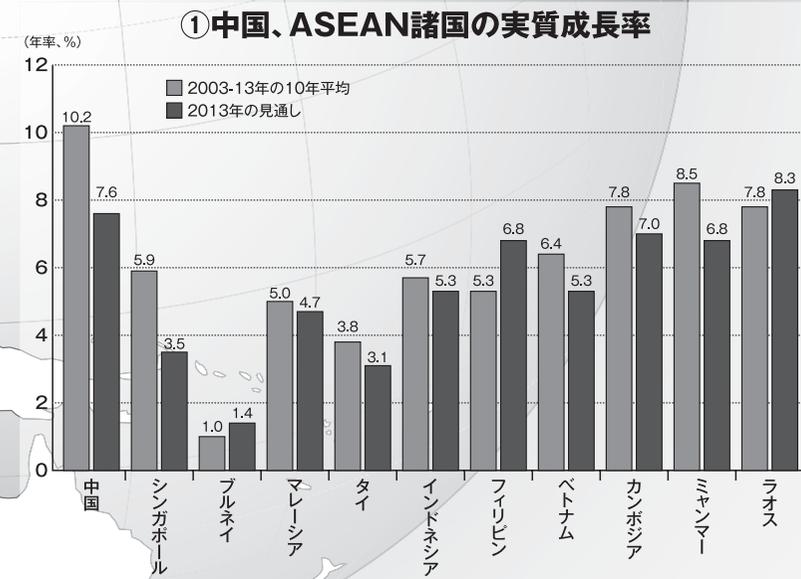
#### ▶一人当たりGDPは豊かさの指標であり、消費力の目安に。

インドネシアでは耐久消費財が売れはじめると言われる3000ドルを超え、自動車販売は年間100万台を超えた。やや劣るフィリピンの自動車販売はまだ芳しくないが、今後の期待は大きい。さらに低い国は消費市場ではなく、生産拠点としての魅力が高い。

### ●中国とASEANの基本的な情報

	面積 (万km <sup>2</sup> )	首都	政治体制	特徴
中国	960	北京	人民民主共和制	世界経済を牽引してきた新興国の代表 近年は格差や少子高齢化などの問題に直面
シンガポール	0.07	—	立憲共和制	アジアの「司令塔」である高所得国 金融・物流の拠点としての存在感は大きい
ブルネイ	0.58	バンドルスリブガワン	立憲君主制	石油資源が豊富な小国 エネルギー資源への過度な依存が課題
マレーシア	33	クアラルンプール	立憲君主制 (議会制民主主義)	高所得国入りを狙う、ASEANの多民族国家 ハラル商品、イスラム金融市場としての 注目も集まる
タイ	51	バンコク	立憲君主制	生産拠点としての地位は抜群 人件費の高騰や、たびたび発生する内政の 混乱が課題
インドネシア	189	ジャカルタ	大統領制、共和制	ASEAN最大の人口が魅力 製造業の生産拠点・消費市場としての存在感は 急上昇
フィリピン	30	マニラ	立憲共和制	高成長を続けるアジア新興国の「タークホース」 英語圏としての魅力に加え、近年は製造業の 生産拠点にも
ベトナム	33	ハノイ	社会主義共和国	日本とのつながりは深く、生産拠点も多い 不透明なマクロ経済、国営企業の非効率性などの 課題も
カンボジア	18	プノンペン	立憲君主制	安価な人件費が魅力で中国企業の投資が集中 タイプラスワンとしての注目も集まる
ミャンマー	68	ネピドー	大統領制、共和制	民主化の進展により外資参加が加速 インドと中国に挟まれた立地も魅力
ラオス	24	ビエンチャン	人民民主共和制	タイプラスワンを狙うASEAN唯一の内陸国 タイ語に近い言語(ラオス語)は魅力の一つ

(資料)外務省ウェブサイトなどを参考にニッセイ基礎研究所作成



(注)2013年の数値はIMFが公表している見直し  
(資料)IMF「World Economic Outlook」(2013年10月)

#### ▶成長率はマクロ経済の最重要指標である。

かつては中国の2桁成長が目立ったが、最近7%前後まで低下。一方で、ASEANの成長率は底堅く、フィリピンなど高成長を達成している国もあるため注目が集まっている。

ひと目で分かる  
海外展開を検討している企業に情報提供したい  
中国とASEANの主な経済指標

海外展開を考える企業にとっては、進出候補となる国の現状がどうなっているのか関心が高いことだろう。そこで本稿では、中国とASEAN各国の主な経済指標をあげ、そのポイントを解説していきます。

高山 武士  
ニッセイ基礎研究所  
経済研究部